

実施可能な心理検査項目

2024.9.1

【人格・性格検査】

検査項目	内 容	検査時間	費用(一人分)
新版TEG3東大式エゴグラム	交流分析理論に基づいて東京大学医学部診療内科TEG研究会が開発した性格検査です。5つの自我状態から、性格及び行動パターンがわかります。	10～20分	11,000円
P-Fスタディ 絵画欲求不満テスト	漫画による欲求不満状況(ストレス)に対する反応から、攻撃対象が自分に向かうのか、他者に向かうのか、などを判定し、性格傾向を把握します。	15分～25分	11,000円
ロールシャッハテスト	普段意識していない、無意識レベルの自己を知ることができます。自身(個人)をより深いところまで理解する最も有効な人格診断検査です。対人関係で悩みを抱えている方は、考え方やものの見方など、様々な角度から適応機能の状態が明らかになります。被験者が操作することが難しいことから、恣意的な要素が含まれにくいという特徴があります。	60～120分	25,300円
集団用ロールシャッハ法式 新版	5枚の図版(インクの染み)が何に見えるかを検査で、社会への適応状態、自己統制力、情緒不安定など個人の性格特徴を総合的に評価できます。採用検討の参考資料や研修などに活用できます。	40～60分	ご相談下さい。
内田クレペリン検査	企業や官公庁で非常に多く採用されている検査で、集団の中での個性を生かしたポジションの決定などに活用できます。検査数により価格が異なります。同時に複数人に対応できます。	40分	ご相談下さい。

【知能及び強み・弱みの判定検査】

WAIS-IV	15の下位検査で構成されており、全検査IQ(FSIQ)、言語理解指標(VCI)、知覚推理指標(PRI)、ワーキングメモリ指標(WMI)、処理速度指標(PSI)を判定することで、個人の得意(強み)、不得意(弱み)がわかります。また、IQや向いている職務の傾向がわかります。	150～200分	33,000円
---------	---	----------	---------

【心の健康診断】

GSD グローバルうつ病評価尺度	うつ病であるかどうかを判定し、合わせてうつ病のタイプが従来型メランコリー型なのか、非定型なのかを判定します。また、重症度も測定できます。	5～10分 + カウンセリング50分	11,000円
GHQ 精神健康調査票	日本版GHQ30: 一般的疾患傾向、身体的症状、睡眠障害、社会的活動障害、不安と気分変動、希死念慮とうつ傾向がわかります。	5～10分 + カウンセリング50分	11,000円

【発達障害スクリーニング検査】

成人期ASD検査	成人期の自閉症スペクトラム障害(アスペルガー障害を含む)をスクリーニングする検査として利用できます。コミュニケーションを苦手とする方の中には、訓練だけで改善できない方がいます。	5～10分 + カウンセリング50分	11,000円
----------	--	-----------------------	---------

【認知機能検査】

HDS-R 長谷川式認知症スケール	日本で広く使用されている、認知機能テストです。9項目の質問で構成され、見当識や記憶に関する課題を中心に構成されます。最近忘れっぽい、何か取りに行ったのに、何を取りに行ったのか忘れた、など「記憶障害？」を判定します。	30分	6,600円
-------------------	---	-----	--------

※各種検査にフィードバック30～60分が含まれます。

※費用は税込み表示です。